

2004.5.2.

一年間三千円掛て東京国立博物館のパスポート会員になると、平常展が無料になるほか、特別展も年六回まで無料になる」

「美術館や動物園が優待で利用できるようになり、これまで足を向けなかった場所をあちこち回るようになった」

六十五歳に達すると、公的施設の割引がある。東京国立博物館の場合は年齢を問わ

60代以上がほかの人に勧めたい

- ▽食関連
  - ・ジュース (野菜ジュースを簡単に)
  - ・電解水 (飲み水のほか、ごはんもおい)
- ▽住まい関連
  - ・食器洗い乾燥機 (後片づけのわずらくなり、気持ちにゆとりができる。1でき、のんびりできる)
  - ・空気清浄機 (ハウスダストを除去で)
  - ・熱処理生ごみ処理機 (操作が簡単)
- ▽健康関連
  - ・血圧計 (自宅で血圧を測れる)
  - ・体脂肪計付き体重計 (毎日の運動にできる)
  - ・マッサージ機 (体の疲れが楽にと)
  - ・足マッサージ機 (足の疲れがとれる)
  - ・使い捨てカイロ (1年中使っている)
- ▽パソコン関連
  - ・テレビチューナー付きパソコン (自番組を家族に気兼ねなく見られる)
  - ・デジタルカメラ (記憶力が衰えてくいろいろなものを記録するのに便利。購トがあまりかからない)
  - ・スキャナー (古い写真を取り込み、している)
  - ・プリンター (写真付きの手紙を出せ)
  - ・パソコン用いす (高さや背もたれがパソコンの前に長く座っていても疲)
- ▽その他のデジタル関連
  - ・電子辞書 (軽し、手軽。百科事典す必要がない)
  - ・ICレコーダー (会話をもう一度聞きに便利)
- ▽映像関連
  - ・プラズマテレビ (ドラマやスポーツらしい)
  - ・DVDレコーダー (VTRで録画しデジタル化している。好きな映画をンしている)
  - ・ビデオカメラ (孫の成長を記録する録を保存する)
- ▽レジャー関連
  - ・軽乗用車 (小回りがきいて、趣味や楽に使える。維持費が少なく済む)
  - ・電動自転車 (坂を楽に登れる)
  - ・携帯型ガスレンジ (アウトドアや釣面に活用できる)

# 遅いものひと

東京の地下鉄銀座線稲荷町駅から六、七分歩くと源空寺の墓地に着く。伊能忠敬の墓は年下の地図作りの師、高橋至時の墓に寄り添うように建っている。

忠敬は下総国佐原村(千葉県佐原市)の伊能家の当主を隠居し五十一歳で江戸に出る。五十六歳から十七年間、測量隊の隊長として計三万五千キロを踏破して大日本沿海実測全図を作る。

隠居後に歴史に残る仕事でできたのは、江戸で天文学者、至時の弟子になり、先端の学問である天文暦学や測量技術を学ぶ五年間の充電期間を持ったおかげだ。忠敬が六十歳のときに、至時は四十一歳の若さで亡くなる。以後、忠敬は測量の旅先から江戸に向かい、感謝の気持ち

## 充電 伊能 忠敬

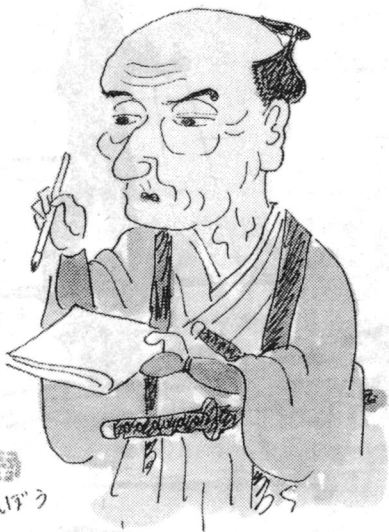
入れ先の米所、東北や関東の商圏を地図でとらえたい。江戸に出る前に天文暦学の基礎を学ぼう。一八〇〇年から十次にわたる測量隊の隊長として全国を踏破。没後三年、大日本沿海実測全図が完成した。

### 若い友との豊かな人脈

基礎ともいえる「授時曆」の教科書を江戸から取り寄せ勉強していた。読みこなすには漢学の素養が必要になる。これは近くの津宮村に住む十七歳年下の漢学者、久保木清淵から学んだ。感心するのは、年下の人からも謙虚に学び、人間関係を大切に

を込めて至時の冥福を祈ったといわれる。

忠敬から数えて七代目にあたる洋画家の伊能洋(70)と妻の陽子(69)を東京都世田谷区の自宅に訪ねた。夫妻は一九九五年に発足した伊能忠敬研究会(会員二百二十人)の主要メンバーでもある。最新の研究を基に「チュウケイさんの足跡をたどると、実に豊かな人脈が浮かび上がる」と口をそろえる。



イラスト・南 伸坊

伊能忠敬の豊かな人脈

は何か。こんな質問をしたところ、「ひまでもやることがない」という趣旨の答えが三十一人だったのに対し、「時間が余って退屈で困るだろう」と思っていたが、実際はけっこう忙しい」という趣旨の答えは六十人に達した。多くの人は自分の暮らしに役立つサイビスやモノを見極めて、賢い生活を送っているようだ。

ノブの父親からホットな情報を耳にしていたからこそ、江戸に出てすぐ至時に弟子入りしたに違いない。至時はその年に天文方に任命され、忠敬に地図作りの道を聞くことになる。

四番目の妻として地図作りの

仕事を助けたのが清淵の弟子でもあった。書や詩文に優れた女性で、第一次測量の蝦夷(現在の北海道)地図を作る際に助手として貢献した。

測量の旅先でも大名や知識人との交流を深め、当時としては非常に広範囲の人脈を築く。五十六歳から七十三歳にかけてだから、相手は大方が年下だ。

忠敬は大日本沿海実測全図作成中、七十四歳で亡くなる。地図は三年後に完成。このとき重要な役割を果たしたのも清淵ら若き友人や弟子たちだ。

偉業を可能にしたのは充電、とよく言われる。資料を丹念に眺めると、その時期に身に付けた学問もさることながら、充電前後に築いた豊かな人脈こそ大きな武器になったようだ。

伊能夫妻は言う。「研究会では思わぬ関係者の子孫と出会えて楽しい。これもチュウケイさんのおかげです」

|| 敬称略 (編集委員 足立則夫)



「ヤコブ・イェンセン・ウェザーステーション」。四連タイプ(幅一四〇×奥行三六五×高さ二〇〇) 四万八千八百九十五円。ピーオーエス 04・2925・6100